



『海のふしぎ発見隊』 実施報告書

1、概要

近隣の海の様子や生き物の観察・調査から、しだいに瀬戸内海全体へとフィールドを広げ、ESDの視点に立って、SDGsの実現にむけた海の環境について考える体験的・問題解決的な学習を実施する。これらの学習を通して、「いま自分たちにできること」について考え、環境保全・保護にむけて積極的・主体的に行動をしようとする意欲・態度を養う。

- 協力 広島大学大学院統合生命科学研究科
広島大学生物生産学部（附属練習船「豊潮丸」）
広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター
江田島市大柿自然環境体験学習交流館「さとうみ科学館」
- 期 日 第1回：令和5年 8月 3日（木）～ 8月5日（土） 2泊3日
第2回：令和5年 9月30日（土）～10月1日（日） 1泊2日
第3回：令和5年 11月 4日（土）～11月5日（日） 1泊2日
- 参加者 小学5・6年生 24名

2、活動内容

- 第1回 1日目 開講式・オリエンテーション、水産海洋技術センター・さとうみ科学館見学、グループワーク
2日目 「豊潮丸」体験乗船、マリンウォッチング in 荒代海岸、グループワーク
3日目 ビーチコーミング in 荒代海岸、グループワーク
- 第2回 1日目 マリンウォッチング in 釣附海岸、グループワーク
2日目 グループワーク、中間報告会
- 第3回 1日目 カッター救助艇乗船（海洋調査）、稚魚の放流、グループワーク
2日目 グループワーク、「海のふしぎ発見隊」報告会

3、参加者の声



マリンウォッチングでいろいろな生き物を探すのが楽しかった。地元にはいない生き物がいておどろいた。

荒代海岸と釣附海岸の両方でマリンウォッチングをしてみて、同じ江田島の海でもぜんぜんちがっていたのでびっくりした。



CODを測ったりして、瀬戸内海の水質がきれいになっていくことがわかった。逆にきれいすぎて生き物がへっていることもわかった。

一人ではわからないことも、班で協力して考え、最後はしっかり発表することができてよかった。

